

**令和元年度第2回松伏町総合教育会議
会議録**

開催日時	令和元年10月16日(水) 午後4時00分から午後5時00分まで	
会議会場	松伏町役場本庁舎3階 第二会議室	
出席者氏名	構成員	松伏町長 鈴木 勝 松伏町教育委員会教育長 岡田 直人 松伏町教育委員会教育長職務代理者 若盛 正城 松伏町教育委員会教育委員 田口 嘉則 松伏町教育委員会教育委員 谷ヶ崎由紀子 松伏町教育委員会教育委員 渡邊 淳子
	事務局等	企画財政課長 石川 敏 企画財政課主幹 大貫 孝司 企画財政課主任主事 渡邊 麻子 教育総務課長 星野 健一 教育文化振興課長 目黒 健二 教育総務課主幹 渡辺 武志 教育総務課主任指導主事 田中 亮祐 教育総務課副主幹 岡本 正央
欠席者	なし	
傍聴人	なし	
次第 (協議又は調整が行われた事項)	1 開会 2 町長挨拶 3 教育長挨拶 4 協議・調整事項 (1) 令和2年度当初予算編成スケジュールについて (2) 令和元年度上半期における町内小中学校のいじめの発生状況について 5 閉会	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度第2回松伏町総合教育会議次第 ・ 令和元年度第2回松伏町総合教育会議出席者名簿 ・ 資料1 令和2年度当初予算編成スケジュールについて ・ 資料2 令和元年度上半期における町内小中学校のいじめの発生状況について ・ 松伏町総合教育会議運営要綱 ・ 松伏町総合教育会議傍聴要綱 ・ 松伏町総合教育会議傍聴要綱運用基準 	
議事録作成者	企画財政課総合政策担当 主任主事 渡邊 麻子	

協議又は調整の要旨

議事	発言者	発言内容・決定事項
1 開会	事務局	会議の開会を宣言
2 町長挨拶	町長	町長の挨拶
3 教育長挨拶	教育長	教育長の挨拶
4 協議・調整事項		
会議録署名人の確認	事務局	会議録の署名人は、町長部局側で町長と教育委員会側で会議ごとに出席者名簿の順に従って、1人ずつ署名いただくこととなっているため、署名人は、町長と若盛教育長職務代理者となる旨報告する。
(1)令和2年度当初 予算編成スケジュールについて	事務局	協議・調整事項の進行は、会議招集者である町長に依頼する。
	町長（議長）	次第 4 協議・調整事項の（1）令和2年度当初予算編成スケジュールについて事務局より説明を求める。
	事務局	（資料1に基づいて説明） <ul style="list-style-type: none"> ・10月に、令和2年度一般会計予算編成に伴う学校要望ヒアリングを行う。 ・11月5日までに、教育総務課、教育文化振興課、それぞれ課内ヒアリング等を実施の上、予算要求書を提出する。 ・12月に、令和2年度松伏町一般会計予算のうち教育に関する事務に係る部分の見積について議案が出され、1月に副町長及び町長査定実施後、予算内示となる。 ・2月には、企画財政課より意見聴取の依頼、令和2年度松伏町一般会計当初予算に係る意見聴取について議案が出される。
	町長（議長）	質問等を求める。
	委員	・2月の意見聴取の依頼の内容はどういったものか。10月の学校要望ヒアリングとは異なる内容のものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の学校要望ヒアリングは、学校から備品や修繕箇所等についての要望が上がってくるため、教育総務課で精査した上で11月5日までに予算要求書を提出する。 ・教育文化振興課についても、各施設から要望が上がってきたものを精査した上で、11月5日までに予算要求書を提出する。 ・提出した予算について、課ごとに企画財政課のヒアリング、副町長及び町長の査定を経て、議会へ提出する予算書が出来上がる。 	

		<ul style="list-style-type: none"> 町長は議会に議案を提出するにあたって、教育委員会に意見を聴取しなければならないこととなっており、その意見聴取の依頼が2月になる。教育委員の皆様には12月に、教育委員会がどのような予算要求をしたか一度お示しする予定。
	町長（議長）	<ul style="list-style-type: none"> その他意見・質問等を求める。
	構成員	【意見・質問なし】
（2）令和元年度上半期における町内小中学校のいじめの発生状況について	町長（議長）	次に、4 協議・調整事項の（2）令和元年度上半期における町内小中学校のいじめの発生状況について事務局より説明を求める。
	事務局	<p>（資料2に基づいて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査期間は平成31年4月1日から令和元年7月31日までとなっており、暴力行為については、小学校が0件、中学校が6件となっている。中学校6件の主な内容は、からかいから叩く等の行為に発展したもの。 いじめ認知件数については、小学校116件、中学校27件となっている。この件数は、日常生活における認知を含め、毎学期1回行っている児童・生徒及び保護者を対象とした生活アンケートの合算となっている。 いじめの認知件数、発生率共に昨年度より減少しており、認知件数のなかに重大事態に発展する事例はなかった。 30日以上長期欠席者については、小学校で5件、中学校で31件となっており、中学校については増加傾向にある。 長期欠席者の個々の事案については、担任だけでなく教務主任、主幹教諭、教頭、校長等及びスクールソーシャルワーカーが主に対応している。中学校においては、学校生活相談員やボランティア相談員も対応しており、未然に防げるものや改善しているものがある。今後も長期欠席者が増加しないよう連携しながら対応していく。
	町長（議長）	質問等を求める。
	委員	<ul style="list-style-type: none"> いじめや長期欠席者には様々な背景がある。スクールソーシャルワーカー等と連携を取ることが大切なことと考えるが、今後いじめの件数や長期欠席者を増加させないようにするための方法はどこで検討することが出来るのか。また、分析や対応はどういった会議で行

		われるのか。
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・認知件数においては、からかいなどから発展したものまで全て件数として拾い上げていく。教職員においては、授業力向上の研修等を継続して行い、児童・生徒においては非認知能力を高めるとともに、心の成長を促す学習環境を整え、認め合い支え合う活動を、全教育活動で行っていききたい。
	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめと虐待との因果関係については、どのように考えるか。
	教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・親からの虐待と学校におけるいじめについての相関関係は、多少の関係性はあるかもしれないが、深く関係しているとは思わない。 ・学校での取組み等で、いじめを限りなく〇に近づけることは可能と考える。 ・長期欠席者については、減少させなければならぬと思うが、フリースクール等その他の選択肢があるなかで、どうしても集団生活に馴染めない児童・生徒もいるので長期欠席者を〇にすることは難しいと考える。 ・いじめの認知件数については、件数が多く見えるが、アンケートの時点で少し嫌な思いをしていたが、その後何の問題もなく解消しているような小さなことも含めて見逃さないように拾い上げ、学校として取り組んでいこうと考えている。
	町長（議長）	その他意見等を求める。
	構成員	【意見・質問なし】
	町長（議長）	協議調整事項について終了し、進行を事務局へ戻す。
5 閉会	教育長職務代理人	会議の閉会の挨拶
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の日程については、令和2年6月の定例教育委員会の日程に併せて開催する。具体的な日程等は決まり次第文書で通知する。

上記記載事項は、令和元年10月16日松伏町役場本庁舎第二会議室において開催した、令和元年度第2回松伏町総合教育会議の内容を記録したものに相違ないことを認め、ここに署名する。

令和元年11月18日

署名人の職・氏名 松 伏 町 長 鈴木 勝

署名人の職・氏名 教育長職務代理者 若盛 正城